

現在、各学校では、学校再開後の教育活動の実施に向け、様々な準備が進められていることと思います。臨時休業明けの学校の取組を支援するために、引き続きメール・マガジン「スクラム」の臨時号を発行いたします。ぜひ御活用ください。



（東京都教育委員会ホームページアドレス <https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/>）

子供たちの豊かな心を育むために —学校再開後の道徳教育の充実に向けて—

新型コロナウイルスとの共生を余儀なくされている現在の社会状況にあって、道徳教育の果たす役割は重要です。「人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」という道徳教育の目標を実現することは、現在そして未来を生きる力の育成につながります。

学校における道徳教育は、道徳科を要とし、教育活動全体を通じて取り組むものです。学校が再開を迎えようとしている今、道徳科はもとより、各教育活動を通じて子供たちの道徳性をどのように養っていくか、改めて見つめ直してみることが求められます。

本「スクラム」臨時号では、学校再開後に道徳科の授業を実施していく上でのポイントや留意点等を紹介しています。社会の状況に柔軟に対応しながら、子供たちの豊かな心を着実に育ていくために、道徳教育を充実させていきましょう。

学校再開後の道徳科の授業 ポイント・留意点

- 「特別の教科 道徳」では、各段階の内容項目（小学校低学年 19・中学年 20・高学年 22・中学校 22）を、学年ごとに全て扱うこととなっています。学校再開に合わせて年間指導計画を見直す際には、次ページ以降の一覧を基に、**各学年で全ての内容項目を取り上げていることを確認するとともに、それぞれの内容項目の概要を改めて把握**し、指導の工夫につなげていきましょう。
- 全ての内容項目を取り上げた上で、**重点を置いて指導する内容項目を、学年や学校全体で協議して決定**し、年間指導計画に反映させます。例えば、
 - ・ 当初の予定で学校として重点的に指導しようとしていた内容項目を計画的に取り上げる。
 - ・ 休校や外出自粛などの影響を受けたからこそ子供たちに考えさせたい内容項目を重点的に取り上げる。などが考えられます。子供たちの実態や教師の願い等に応じ、学校や学年での共通見解として重点的に取り上げる内容項目を決定し、指導計画に反映させるなど、柔軟に対応していきましょう。
- 現在の状況が子供たちに与える影響についての保護者の不安や心配を取り除くために、**道徳教育を仲立ちとした家庭との連携**を、これまで以上に強くしていくことが大切です。道徳科の授業での子供たちの様子を伝えたり、家庭で話し合っほしいテーマを発信したりして、学校と家庭とをつなげていきましょう。

小学校第1学年・第2学年

● 小学校第1学年・第2学年で扱う内容項目（それぞれの学年で全て扱う）

A 主として自分自身に関すること	
善悪の判断、自律、自由と責任	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。
正直、誠実	うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。
節度、節制	健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
個性の伸長	自分の特徴に気付くこと。
希望と勇気、努力と強い意志	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。
B 主として人との関わりに関すること	
親切、思いやり	身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。
感謝	家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。
礼儀	気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。
友情、信頼	友達と仲よくし、助け合うこと。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	
規則の尊重	約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
公正、公平、社会正義	自分の好き嫌いにとらわれないで接すること。
勤労、公共の精神	働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。
家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。
よりよい学校生活、集団生活の充実	先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。
国際理解、国際親善	他国の人々や文化に親しむこと。
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	
生命の尊さ	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。
自然愛護	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。
感動、畏敬の念	美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。

道徳科の充実に向けたポイント①

内容項目のつながりを意識する

それぞれの内容項目を、独立したものとして扱うのではなく、関連性を意識したり、大きなテーマでひとくくりにしたりすることで、より効果的に道徳性を育むことができます。

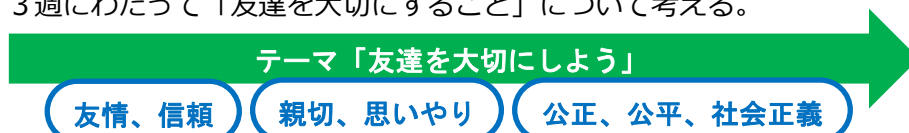
◆関連性を意識して、授業の配置を工夫する。

(例) 「親切、思いやり」を「感謝」に関連付け、それを踏まえて「礼儀」を取り上げる。



◆大きなテーマで複数の内容項目をひとくくりにする。

(例) 3週にわたって「友達を大切にすること」について考える。



● 小学校第3学年・第4学年で扱う内容項目（それぞれの学年で全て扱う）

A 主として自分自身に関すること	
善悪の判断、自律、自由と責任	正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。
正直、誠実	過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。
節度、節制	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする
個性の伸長	自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと。
希望と勇氣、努力と強い意志	自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。
B 主として人との関わりに関すること	
親切、思いやり	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。
感謝	家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。
礼儀	礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。
友情、信頼	友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。
相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切に
すること。	
C 主として集団や社会との関わりに関すること	
規則の尊重	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。
公正、公平、社会正義	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。
勤労、公共の精神	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。
家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。
よりよい学校生活、集団生活の充実	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。
国際理解、国際親善	他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	
生命の尊さ	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。
自然愛護	自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。
感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。

道徳科の充実に向けたポイント②

指導の継続を意識する

授業で取り上げた内容項目や、その時に考えたことなどを、子供たちが常に振り返ることができるような工夫をすることで、継続的に道徳性を育てていくことができます。



教室に道徳科の授業の板書の写真や
発問を掲示した例



校舎内に各学級の道徳の取組が分かる
掲示コーナーを設置した例

小学校第5学年・第6学年

● 小学校第5学年・第6学年で扱う内容項目（それぞれの学年で全て扱う）

A 主として自分自身に関すること	
善悪の判断、自律、自由と責任	自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。
正直、誠実	誠実に、明るい心で生活すること。
節度、節制	安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。
個性の伸長	自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。
希望と勇氣、努力と強い意志	より高い目標を立て、希望と勇氣をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。
真理の探究	真理を大切にし、物事を探求しようとする心をもつこと。
B 主として人との関わりに関すること	
親切、思いやり	誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。
感謝	日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。
礼儀	時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。
友情、信頼	友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。
相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	
規則の尊重	法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。
公正、公平、社会正義	誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。
勤労、公共の精神	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。
家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。
よりよい学校生活、集団生活の充実	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。
国際理解、国際親善	他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	
生命の尊さ	生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。
自然愛護	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。
感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。
よりよく生きる喜び	よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じること。

道徳科の充実に向けたポイント③

内容項目の重点化を意識する

学校や学年で重点を置いて指導する内容項目を設定し、工夫して指導することで、学校の教育目標や学年の目標を実現していくことができます。

- ◆ 重点を置いて指導する内容項目を、2時間連続や2週連続など、**集中して取り上げる。**
- ◆ 重点を置いて指導する内容項目を、毎学期に1回など、**定期的に取り上げる。**

中学校

● 中学校で扱う内容項目（それぞれの学年で全て扱う）

A 主として自分自身に関すること	
自主、自律、自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。
節度、節制	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。
向上心、個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。
希望と勇気、克己と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。
真理の探究、創造	真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。
B 主として人との関わりに関すること	
思いやり、感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。
礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。
友情、信頼	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。
相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	
遵法精神、公德心	法やまじりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。
公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。
社会参画、公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。
勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。
家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。
よりよい学校生活、集団生活の充実	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。
郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。
我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。
国際理解、国際貢献	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	
生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。
自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。
感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。
よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。

※ 中学校においても、22の内容項目の全てを、各学年で扱います。

※ 生徒の実態に応じて、教科書だけでなく、国や都が作成した教材や郷土資料などを活用することも効果的です。